

(様式1)

令和7年5月10日

富山県教育委員会教育長 殿

学 校 名 富山県立砺波高等学校

校 長 氏 名 辻 ゆ か り

令和7年度学校経営計画を別紙(様式2・3)とともに提出します。

令和7年度 学校経営計画

1 学校教育目標

校訓 「道義為之根」 「質実剛健」 「自彊不息」 「進取而敢為」

- ア 将来、職業人として生きるために必要な、基礎・基本となる知識や技能を身につけた人材を育てる。
- イ 地域から信頼、期待され、地域の伝統・文化を理解し、継承できる人材を育てる。
- ウ 社会人として必要な、コミュニケーション能力や常識、規範意識を身につけた人材を育てる。
- エ 自然や社会の変化を捉え、他者に共感し、思いやれる感性を持った人材を育てる。

2 学校の特色

- ア 国公立大学現役合格率70～80%を目標とするなど、進学校として地域の期待を担う学校
- イ 砺波地方の質実で剛直な気風と相通ずる精神を踏まえた豊かな感性、人間性、体力を育む学校
- ウ 人格の陶冶と進路目標の実現を旨とする教育活動を実践し、勉強も特別活動も全力で取り組む学校

3 学校の現状と課題

ア 現状

総じて本校生徒は素直で、与えられた課題に対して真面目に取り組むなど、着実に努力を積み重ねる粘り強さがある。また近年、探究的な学習を推進したことで、自己の在り方・生き方について考える機会が増え、高い目標を掲げて挑戦する意識が以前より高まったと思われる。

今後は、取り組んできた探究的な学びをさらに深化させ、将来の生き方について考えを深めるなかで設定した課題に果敢に挑戦し、解決に向けて積極的に創意工夫する力を育むことで、あらゆる教育活動をより活性化させていく必要がある。

イ 課題

(ア)主体的な学びの実現

- a 学習状況の把握に努め、基礎・基本の学力の定着を目指すとともに、自ら目標を定め、工夫して学力の向上に努めようとする自主性を育む。
- b 面接、教育相談の充実や、個別指導の強化に努めるとともに、生徒の進路意識の高揚を図る。
- c 教育相談・支援委員会を中心に、個々の生徒に応じた教育相談体制を強化し、早期対応と継続的な支援を行う。
- d 課題研究や様々な研修・実習を通して探究力、思考力を育てるとともに、学校行事、部活動等を通して行動力や協働力を培い、生徒の自己実現につながる達成感を育む。

(イ)教師力の向上

- a 分掌・学年等の組織を一層活性化し、チームワークの向上を図る。
- b DX推進委員会を中心に、ICT活用研修の充実やデジタル教材の開発を推進し、教員のICT指導力向上を図る。
- c 高大接続改革を見据え、教科等横断的な視点からカリキュラム・マネジメントを工夫し、探究力の向上や進学指導などの実践研究を先進的に行う。
- d 評価方法の改善について研究し、授業その他の指導の一体化を図る。

(ウ)管理運営力の向上

- a DX推進委員会が中心となり、校内ネットワーク環境の整備やクラウドサービスの活用を推進し、情報共有の円滑化とセキュリティ強化を図る。
- b 校舎や学校環境・情報関連機器、視聴覚・放送機器、教材の整備に努める。
- c 危機管理意識をしっかりと持ち、問題の早期発見、適切な対応に努める。

(エ)PTA活動、同窓会活動の充実

- a 学校行事、PTA活動に工夫を加え、行事、活動への保護者のさらなる参加を促す。
- b 同窓会による教職員、生徒への支援の充実を図る。

(オ)業務改善

- a 教育活動全般にわたり目的や実施手順、分担の見直しを行ったうえで、効果の検証に努める。
- b ダブルスワーク(業務の共同担当・分担)を推進し、複数の教員が協働して業務にあたるように努め、リスク管理および負担軽減を図る。